

経済・金融  
フラッシュ中国経済：貿易統計(2021年12月)  
～輸出、輸入ともに伸びは鈍化

経済研究部 研究員 助川 啓太

TEL:03-3512-1787 E-mail: sukegawa@nli-research.co.jp

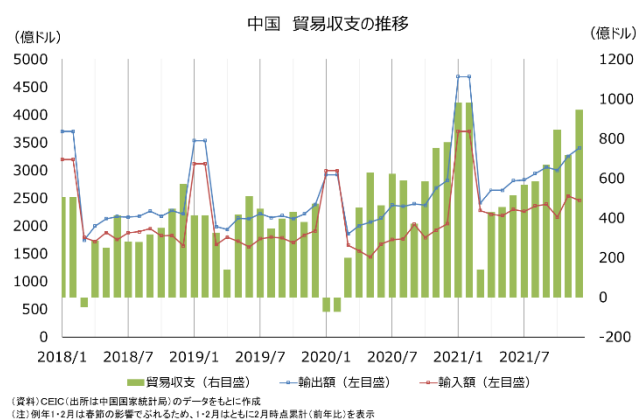
## 1. 貿易収支

2022年1月14日の中国税関総署の発表によると、12月の中国の輸出額は3405億ドル、輸入額は2460億ドルとなり、貿易収支は945億ドルの黒字（前年同月比20.8%増）となった（図表-1）。

輸出額は前月11月よりも増加し、輸入額は減少した。貿易収支は945億ドルとなり、前月の717億ドルから228億ドル増加した。電気機械製品やハイテク製品等の輸出の好調が続き、黒字化に成功している。

中国では12月に陝西省西安市を中心に新型コロナが蔓延した。2022年1月に入ると、河南省や天津市で新型コロナが拡大し、防疫措置が講じられている。河南省ではロックダウンが行われ、天津市でも日系企業を含む工場の操業停止が命じられている。北京冬季五輪開催を目前とし、中国では厳戒態勢が敷かれているため、企業活動の制約は免れない。欧米でも新変異株が流行していることもあり、供給制約や供給網の混乱等、動向を注視したい。

(図表-1)



## 2. 輸出

12月の輸出は、前年比20.9%増（11月：同22.0%増）となり、9月から3か月連続で鈍化した。

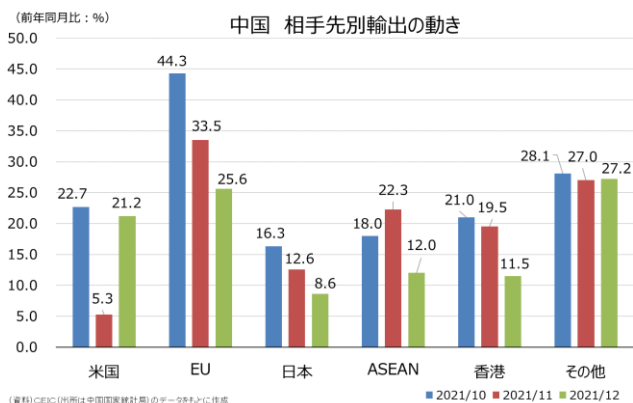
輸出相手先の推移を見ると、米国、EU、日本、ASEAN、香港ともに対前年プラスとなった。また11月と比較すると、米国向けへの輸出の伸び率が拡大した一方、EU、日本、ASEAN、香港向けへの輸出の伸び率は縮小した（図表-2）。

また、12月の主要輸出品目の伸び率を見ると、農産物は対前年17.7%増、紡績糸・織物（およびその製品）は同16.2%増、衣類（付属品含む）は同14.5%増、電気機械製品は同18.1%増、ハイテク製品は同23.1%増となった（図表-3）。

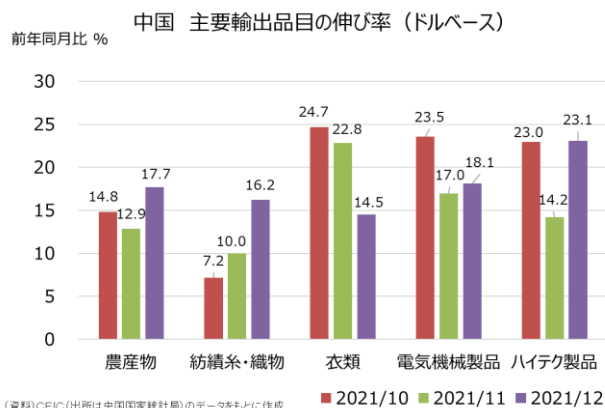
他の輸出品目に着目すると、レアアースが対前年53.0%増、肥料が同17.4%減、鋼材が同84.9%増、アルミニウムが同67.2%増となった。電気機械製品の内訳をみると、家電製品が対前年17.6%増、集積

回路が同 21.0%増となった一方、液晶ディスプレイは同 5.6%減、携帯電話が同 33.2%減、オーディオデバイスが同 34.7%減となった。

(図表-2)



(図表-3)



### 3. 輸入

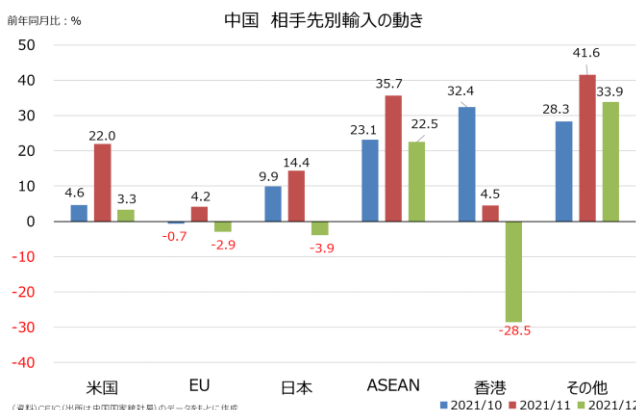
12月の輸入は、前年比 19.5%増（11月：同 31.7%増）と伸びは鈍化した。

輸入相手先の推移を見ると、米国が対前年 3.3%増、ASEAN が同 22.5%増となり、ASEAN からの輸入は前年を上回り続けている。一方、EUは同 2.9%減、日本は同 3.9%減、香港は同 28.5%減となりマイナスへと転じた（図表-4）。

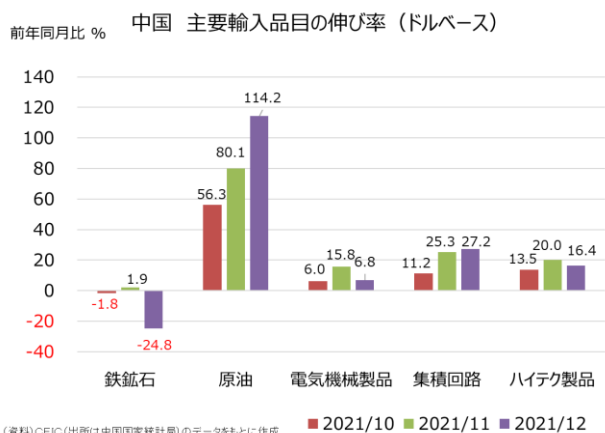
また、12月の主要輸入品目の伸び率を見ると、鉄鉱石は対前年 24.8%減、電気機械製品は同 6.8%増、集積回路は同 27.2%増、ハイテク製品は同 16.4%増となった。また、原油は昨年よりも価格が高騰していることをうけ、同 114.2%増となった（図表-5）。

他の輸入品目に着目すると、電力不足の影響で前月に輸入が拡大していた石炭（亜鉛含む）は対前年 173.2%増（11月：同 762.6%増）まで減少した。そして、半導体の供給制約は依然として解消していない状況がうかがえる。半導体（ダイオード含む）の輸入は対前年 8.7%増だった一方、医療用機器、液晶ディスプレイ、自動車(シャーシ含む)など半導体を用いた製品の輸入はそれぞれ同 5.1%減、同 12.2%減、同 32.3%減となった。リードタイムが緩和されるまでしばらくかかりそうである。

(図表-4)



(図表-5)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。